

西湘高校同窓会

発行所
小田原市酒匂1-3-1
神奈川県立西湘高等学校同窓会
発行責任者 草柳 孝
編集 飯山富夫・田中保行・原 宏
印刷 株式会社アルファ

草柳 孝

同窓会会长



西湘高校同窓会長の草柳孝（8期生）です。

今年は同窓会設立50年の年でもあり、50周年記念事業実行委員長を和田照子副会長にお願いし、11月21日（日）に箱根湯本の富士屋ホテルでユニークな記念祝賀会を実施します、多数のご参加を楽しみにしております。その他、母校も校舎の震耐工事も終了し校舎内の環境整備が残るだけになりました。同窓会としては出来る限りの支援を考え、母校創立50周年の時には会員の皆様からご協力に感謝すると伴に、今回

も母校支援募金をお願いするに当たり、募金に税金控除がある神奈川県まなびや基金も活用しました、今回も会員の皆様の暖かいご支援を賜りたくお願い申し上げます。また、同窓会組織の拡充のため年次学年代表幹事との連絡網の再構築や大井町同窓会や南足柄市同窓会との連携も深めてまいります。

今年の母校の文化祭に、「卒業アルバム放映」と「先輩からの進路相談」として同窓会が参加しました。同窓会として母校への最大の支援は、会員其々が「今を精一杯生きている」ことだと思います。時には母校へ出向き生徒が活動している姿を見に行ってください。



永森 衣代

元同窓会会长
1期生



多くの人々の期待を背負つて創立された西湘高校誕生から半世紀、本年同窓会は50周年を迎えました。私共1回生が入学したときは、校舎も校章も制服もなく、ゼロからの出発でしたが、新しい校風と伝統を築いていこうと、生徒の心は一つ

でした。

当初203名の出発から同窓生も今では19679名に達し、社会の各方面で活躍をされております。同窓生の集まりも、クラス会、同期会、部活OBG会、職場グループ会等多岐にわたり、心強い限りです。

50周年を機に会員の交流が広がり、ますます同窓会が発展していくことを、心から念願しております。

ここに半世紀を支えて下さった地域の方々、母校の先生方、そして同窓会に関わってきた方々など同窓生の皆様に、改めて感謝申し上げます。

山本 明利

県立西湘高等学校校長



西湘高校同窓会設立50周年おめでとうございます。平成19年に創立50周年を祝っていただいてから3年、この間に、母校の校舎は順次耐震改修工事が進み、本年6月末をもって建物部分の工事が全て完了しました。同窓会から御寄贈いただいた特製生徒用ロッカーも、明るくきれいになった

敬称は略させていただきます。

教室にしっかりとおさまり、日々生徒に活用されています。今後はさらに、教室の空調設備や体育館のステージ周りなどの整備をしていきたいと考えますので引き続きご支援を期待します。この夏の野球部県ベスト16の快進撃は記憶に新しいところですが、陸上部もインターハイ出場、少林寺拳法部も全国大会出場、SSH全国生徒発表会では本校生徒が「ポスター発表賞」をいただくなど、生徒諸君は今年も大活躍です。引き続き母校を応援してください



末木 万満

PTA会長



同窓会設立50周年おめでとうございます。我が子を、西湘に入れて本当に良かったと思っています。子供たちにとって、西湘は過去のものではありません。今も、出会った仲間と共に道を歩んでいるからです。すばらしい、仲間や、先生たちと出会い充実した3年間を過ごせたことは、一生の宝物だと感じているようです。

すばらしい出会いを提供出来、教授することの出来る西湘。この出会いを継続

的なものに、或いは、もっと広範なものにするために、その仲立ちとして同窓会の更なる発展を望みます。PTAは、学校在学中の支援のため現在も奮闘中ですが、学校発展のためには、同窓会と足並みをそろえ、活動していくことが肝要だと思います。私たちも、卒業して（させて）しまったから「さようなら」でなく、第2の母校として見守ろうと思っています。学校もSSH・理数コース設置、産学連携など新機軸を打ち出しアピールしていますが、今その魅力を語れるのは、同窓生やPTAであると思います。今こそ新たな50年に向け、手を携えながら、その発展を見守つて行こうではありませんか。



石川 茂

初代副校長・教頭

同窓会の50周年おめでとうございます。

皆様の母校西湘高校が出来たのは昭和32年で、当時県立高校の数は少なく42校でしたが、そのうち市町村立から県への移管も多かった中で、西湘は初めから県立て、校舎も県で初めての鉄筋コンクリート造りであった

山田 りえ



JR鴨宮駅より徒歩5分、閑静な住宅地にアトリエ兼住居があります。

西湘高校での思い出は、「生徒によく世話をもらった」という事です。思いもよらぬことから先生となって西湘に赴任し、どうしたらよいのか戸惑うことばかり

でしたが、西湘の生徒は素直で人懐っこく、私にまわりについて親切にいろいろ教えてくれました。美術の専任は私がはじめてという事で美術準備室を頂いたのですが、木製の棚に

ペンキを塗ってくれたり掃除をしたりカフェバーのようにしてくれて生徒が集まってくれました。題材を買うため東急ハンズに行ってくれたことも印象に残っています。

先輩の先生方にも暖かく

ので、生徒は皆誇りをもって卒業し同窓会員になったと思います。

それから長い年月が経ちましたが、同窓会員の中で校名を汚す様な人は無く、むしろ立派な人となって学校の名前が出ている人がいることは誠に結構なことだと思います。

これからも同窓会員が相互に励まし合い、世間に誇れる同窓会でありますことをお祈りいたします。

迎えて頂き、可愛がってもらいました。

授業は教えてその通り描かせるというやり方は好きではなく、一緒に遊んでもらったという感じです。

未だに卒業生、職員の方が展覧会に来て応援してくれます。

現在の状況ですが、展覧会に追われ多忙な毎日を過ごしています。

年に個展を2、3回、グループ展を4、5回行っています。

個展は毎年、銀座の柴田悦子画廊で行うほかに、他の画廊やデパートで行っています。

近くでは藤沢のさいか屋デパートでも行っています。

お店、ホテルからの注文も受けます。2、3日徹夜することもあります。

趣味は庭いじり、化石や貝殻、石、香りの強い花が好きです。

同窓会のますますのご発展を願っております。



名物先生

ANO Sensei

昆野 春晃

独断と偏見の我が哲学

だ。誤診あり、医療ミスも多発。病気を無理に治そうとする薬には必ず副作用がある。

自分の体を守るのは自分自身だけ。それは自分に合う食事と、適度な運動に頼るしかない。ペースモーター、深酒、宵張りと、不摂生を重ねながらも何とか元気らしく居られるのは、毎週のテニス、ゴルフと、すばらしい両親に恵まれた幸運によるものと感謝している。

小清水 賢



(英語) 昭和37年4月から昭和50年3月まで在任
大磯に住んでいます。

西湘高校の次に、小田原高校に赴任しそこで退職を迎えました。

退職後も健康に恵まれて、どこも悪いところがなく元気で過ごしています。

楽しみと言えば、知らないところを訪ねて路地裏の新しい発見をすることです。

時々東京へ出掛けては古いレコードを探し回り、お目当てのレコードを探し当てた

時は大きな喜びを感じています。

西湘の思い出は、初代大谷弘校長の下、先生方が熱心に新しい学校を生徒と作り上げていくのに

燃えていたことです。もう1つあるとすると、校庭の草の草取りです。

あの時は先生も生徒も燃えていました。

自分は英語の教師でしたが、どうも授業中はオーディオの話や京都の良さを語るのに熱心で、生徒からはどのように思われていたか気になるところです。

今は懐かしく思い出されます。

同窓会設立50周年のことこれからもますますご発展されることを願っております。

敬称は略させていただきます。

自慢の先生 Kono Sensei

関口 康弘



平成20年4月より着任。日本史担当です。
三年生と一年生を教えてい
ます。部活は卓球部のサブ
顧問です。

西湘の生徒は真面目でし
っかりした素直な生徒が多
いです。

今の生徒は物事を深く考
えていません。親や先生に
思いつきりぶつかってこな

いで大人しく無難に過ごす
ことを好んでいるように思
われます。

もっと先生にもぶつかっ
てほしいと思います。

同窓会設立50周年おめで
とうございます。

同窓会のご寄付で高校の施
設充実を図って頂けるとお
聞きし感謝しています。

PTAと一緒に同窓会が
力になって頂ければありが
たいです。

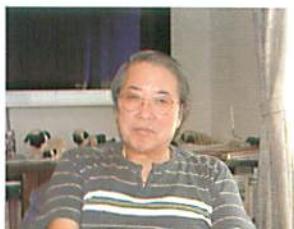
皆さんも改修工事が終わ
った校舎に遊びに来てください。



地区同窓会が発足

南足柄市

南足柄同窓会 会長



芹澤 優

南足柄市西湘高校同窓会の発足式が5月29日、
南足柄市女性センターで開かれました。西湘高校
同窓会が今年創立50周

年を迎えることがきっかけとなり、同市に在住、
在勤する卒業生らの会が出来たものです。

発足式には約20人が
参加しました。自己紹介の後に規約の説明や承認、
役員の選出などがあり、初代会長には芹澤優が選
ばされました。



早野 慎一



平成18年4月より着任。国語科担当です。

父、早野眞美も西湘の国語の先生をしていました。

現在は二年生の学年リーダーを受け持っています。

大学では江戸時代の文学（黄表紙）を学びました。

他校から赴任してきて思うのは、西湘の生徒は挨拶が出来て、性格が良く、非常に好感が持てます。

今の生徒は自分の人生設計や将来が思い描けない人が多いように思います。私は生徒が一年生の時から、できるだけ情報を集めて、それも親・予備校の先生などの情報を鵜呑みにしないで自分の力で情報を集めて、

将来の設計を描いていってほしいと話しています。

また先生方も素晴らしい、部活の指導者が熱心なので野球や陸上などさまざまな分野で生徒が活躍しています。

今回、同窓会で体育館のステージ周りの整備の寄付を募って頂けるという事で大変感謝しております。



校歌



QRコードの使い方

①QRコードを読み取る準備をします

[NTTドコモの場合]

カメラを起動 → 機能(またはメニュー) → カメラモード切替(またはツール) → バーコードリーダー

[au by KDDIの場合]

アプリ → バーコードリーダー(または2次元コードリーダー)

[ソフトバンクの場合]

メインメニュー → QRコード(またはツール) → バーコードリーダー(またはQRコードリーダー)

②QRコードをカメラで読み取ります

QRコードが画面に大きく写るようにカメラを動かし、撮影することで読み取ります。

正しく読み取れると、そのコードに埋め込まれたURLが表示されます。
カメラを「接写」モードに切り替えないと読み取れない場合がありますのでご注意ください。

③表示されたURLをクリック

表示されたURLをクリックします。YouTubeにつながりますので、『動画を見る』を選び、指示に従って下さい。

観戦記

「第92回 全国高校野球選手権 神奈川大会 第二回戦を観戦して」

7月17日（土）相模原球場にて12時より西湘と鶴見工業の試合が行われました。

球場は梅雨が明けて青空が広がり、暑さの真っ只中でした。

相手の鶴見工業は来春の閉校が決まっていて三年生だけの部員14名で最後の大会に臨んでいました。

試合の様子ですが、西湘のエース、月田裕貴君（三年生）が最後まで良く決まる球を投げてくれて5対2で西湘が勝ちました。

西湘の一塁側応援席には300人が応援に駆けつけてくれてその中には同窓生も多く見られました。

同窓生にインタビューしました。

「14期生です。今、4回の裏ですがこの様子では西湘が勝ちそうですね。

ピッチャーが良いですが、打線も1番から3番がよくて強いチームですね。応援のしがいがあります。」校長先生、前校長先生のお姿も見うけられ、一丸となつて応援していました。

「第92回 全国高校野球選手権 神奈川大会 第五回戦を観戦して」

7月24日（土）平塚球場

にて11時より西湘と慶應の試合が行われました。

平塚球場の広い一塁側スタンド、西湘の応援席が満席で埋りました。

あちらこちらから「おい、元気か」など、同級生同士が仲間を探す声が聞こえました。

私も斎藤英一先生を見かけたので、隣に座りませんかと声を掛けました。

三回戦で愛川戦でした

試合はエース月田裕貴君が無四球完封を果たし5-0で見事勝利しました

打では4番勝股一帆君が2本のタイムリーと9回にライトスタンドにホームランを打ち大活躍でした。母校の後輩がホームランを打つのを初めて見ることが出来興奮しました。試合後は勝者にだけ与えられる特権で校歌を声高らかに歌うことが出来それはそ



ませんでした

同窓のみなさん母校の応援にグランドに足を運びませんか

きっと「大きな感動」が待っていますよ！

報告 9期生 清水 光男

監督からのメッセージ



主将からのメッセージ



全国高校野球大会 神奈川県大会 ベスト16に

この日はプラスバンドが大会に出るため、球場に来ることができず、それを補うかのように、応援席では太鼓を叩いたりそろいのメガホン、うちわを叩いて応援しました。

西湘もがんばったのですが、力及ばず、0対4で負けてしまいました。

選手の皆さん、応援席に挨拶に来た時には応援席から暖かいねぎらいの言葉がかけられました。西湘の現役生、卒業生、先生方が一丸となって応援した一日でした。

報告 6期生 和田 照子



れは幸福でした

その後四回戦で第一シードの橘学苑を破った百合丘を撃破しベスト16まで駆け上りましたが、五回戦で惜しくも慶應に敗れベスト8は逃しました

大きな感動をいただいた後輩野球部諸君に「ありがとう」と言いたいです

我々在学中

は野球部が無く同級生が当時の校長に野球部を創ってと懇願しましたが、野球は校庭を全部使うからダメと言われ叶い



耐震化工事 完成

B・C・D棟に続き、A棟の耐震化工事が終わり、プレハブ校舎からの引っ越しを行われました。

校舎の構造はそのままですが、校舎の中央に補強が施され、耐震化がなされていることが分かります。

校舎の中は木のドアや壁



校舎の補強の様子



でしたが、それらは取り払われ、新しいものへと交換されました。

内装を塗り替えたせいか、廊下から見渡すと明るくなつたように感じます。

中庭の像は工事中は窮屈



A棟 改修前



A棟 改修後

そうでしたが、工事を終え気持ちよく手を伸ばしていくように感じました。



工事中の中庭の様子



工事終了後の中庭の様子



女子トイレ 化粧台



事務室 改修前



事務室 改修後

(鏡) が用意され、ぐっとおしゃれになりました。



サトパン



西湘高校の近くの愛称『サトパン』さんにお邪魔しました。

店内のベンチの周りの壁には、西湘生たちのプリク



ラや写真がいっぱい飾っています。

「西湘の卒業生の紹介で、雑誌に掲載されたこともありますよ。」とオーナー。

今の人気は『カリカリサンド』(材料をパンに挟み、サラダオイルで揚げたもの)



だそうです。

この日も西湘生が買いに来っていました。

「西湘高校同窓生の皆さん、ぜひ、サトパンに遊びに来てください。」とオーナー。

TEL0465-47-5598

オーナーからの メッセージ



お知らせ

次年度の同窓会総会は、5月15日（第3日曜日）に小田原駅近くの会場で行う予定です。また、その後行う懇親会もみんなで創る充実した内容にしていきたいと思います。

詳しくは下記ホームページを参照して下さい。

西湘高校同窓会 検索

<http://www.seisho-alumni.org>

ご意見は下記メールアドレスまでお願いします。
seishoalumni@yahoo.co.jp

あの人は今・この人は昔

2期生

湯川 素子

南足柄市議会議員



西湘高等学校同窓会設立50周年おめでとうございます。

入学から本館の建設や校庭の拡張工事と学校が誕生していく過程をつぶさに見てきました。私たち生徒も先生方と力を合わせてテニスコート造りや花壇造りをし、学校に魂を入れて来ました。学校と共に成長して来たように思います。

何より学校で学ぶことが嬉しかった。校歌にあるように気高く ゆかしく のびらかに

学校生活を謳歌しました。時に先生のお宅にお邪魔したりして本を読んだり、感想を話し合ったり、休日は、登山をして木や山野草の名前を覚え、写生もしました。それらの経験が、今日の私を作り上げている、と思います。今、議員として激動する地方政治の中にいますが、原点は、政治は人を幸せにするためにある。そのために多くの人に参画して貰い、より良い社会を創りあげる努力をしています。

8期生

間宮 恒行

大井町町長

私が入学した当時は、ピカピカの校舎でした。この数年間に改修整備が行なわれている事、改めて深い思いを感じます。今日の私が

あるのは、指導を頂いた恩師の先生方や、一緒に学び、遊んだ仲間たちが、多くの経験をさせてくれたお蔭です。今私は、町長職に就いています。町を取り巻く状況は大変厳しく、多くの課題を抱えておりますが、一層住みやすい町の実現に向って取組んでいます。本年、同窓会が設立50周年を迎えることは、誠に喜ばしいことです。幅広い年代の同窓



生が様々な分野で活躍しており、世代を越えて交流を活発に図ることが、母校の発展に繋がると思いますので、同窓会の一層の充実した活動をお願いします。

10期生

野田 一生



我々が卒業した、昭和44年は70年安保のど真ん中。

大学は機動隊にガードされながら受験し、いざ入学

してみるとパリケード封鎖で連日アルバイトの日々。在学中に劇団『四季』に入り、小さい頃からの夢であった俳優の道を目指した。その後、文学座を経て仲間同士で作ったプロダクションに現在も所属（芸名は海一生）。俳優ではなかなかメシが食えそうにないと考え、早くに起業し、新宿や渋谷で主にレストラン・ウエディングが出来るイタリアン・レストランを経営し、10月

で丸37年になります。しかし、平成13年に父が他界してからというもの東京での仕事はほとんど娘に任せて、実家の小田原にいる事が多くなった。父は西湘高校で体育の教師をする傍らお寺の住職をしていた。私もその後を継いで現在はそのお寺（市内沼代にある真言宗・東寺派の福泉寺）の住職をしている。つまり、現在、山寺の和尚さんなのである。

10期生

菊池 優一

人生とはやっぱり出会いである。ただその出会いも人と人とは限らない。人と会社、人と仕事、人と国、人と文化というように様々な出会いがあると思う。私の半生を振り返ってみると、まさにそのような出会いの連続だった感がある。中学生の時にリーダーズダイジェストという本に出会い、その影響でスイス、ギリシャ、フィンランド、ペルーに行ってみたいと思った。高校時代も部活の仲間、クラス仲間、先生達、皆素晴らしい出会いだった。その後回り道をしたあげく旅行会社に勤務したが、た

またまその旅行社がトルコ、エジプト、シリア、ヨルダン、バキスタンという当時はまだ秘境と認知されていた中近東をメインにしていた、さらに当時は全く知られていなかったカリブ海やアラスカ、メキシコなどのクルーズも扱い始めたのだった、そのおかげで旅行会社でも扱いの希な地域を経験することが出来た。そして世界遺産とクルーズという私にとってのライフワークと言えるものに出会えた。今、還暦を迎える年となり、これから自分の自分を考えると、世界遺産とクルーズにかかるて生きて行こうと決心している。そのため世界遺産検定の一級を取得し、世界遺産アカデミーの

認定講師の資格を得た。クルーズコンサルタントという資格も取ることが出来た。この二つの資格を生かすにはクルーズや世界遺産にかかるツアーや添乗員をやるのが一番だと思っている。幸い添乗という仕事は私の天職とも言え、過去に100回以上の添乗をしたと思うが、添乗員としての私へのクレームは無かった。そのことを励みに今後も頑張って行きたいと思う。私の目標は1990年に出会った、当時80才で添乗員をしていた方なのだから。

それでも様々な出会いの出発点は西湘高校だったように思う。感謝！

TEL 0465-48-9058

15期生 本多 博嗣

県立西湘高校 副校長

現在、母校である西湘高校の副校長をしています。

高校時代は数学しか勉強しなかったような気がします。先生から見ると出来の

悪い生徒ではなかったでしょうか。

部活は剣道部に入りましたが、足を痛めたため一年で辞めてそれ以降は数学一筋の高校生活でした。

一番印象に残っていることは三年生の時に学校から一名選ばれて県知事賞を頂

いたことです。

母校に勤めていますが、現在の生徒は、自分の頃より大人しいかなあと感じています。

同窓会設立50周年おめでとうございます。

同窓会の皆さんに母校に懐かしさを寄せててくれて何かと

ご協力いただけたことに感謝しています。生徒に代わってお礼申し上げます。



16期生 いくちゃん・かよちゃん



演劇部OB会は14回生を中心に発足して、27年になります。最近は、14回卒業生の前後の卒業生の参加を中心でしたが、今年は、はじめての参加者の方も増え、盛り上りました。

お互いに、年を重ねていますが、その時間は、タイムスリップして、あの頃の話に、花が咲きます。
若い方の参加を、お待ちしています。



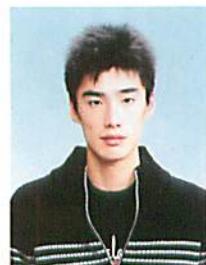
47期生 相内 芳予

小学校教諭



48期生 竹澤 二郎

横浜国立大学4年



31期生 和田 輝明

第15期の先輩から発足された、我がフォークソング部の集いを、先日の7/24、小田原のLIVEHOUSE「jakaka」にて開催しました。31期生の和田を幹事に、総勢70名の諸先輩ならびに後輩部員が集まり、上は21期生から下は35期生のメンバーがそろいました。世代を超えて一つの輪となり、今もなお、その輪が続いている部は、他に例がないと思います。

文化部なのに活動は運動部



並みの厳しさ(笑)を経験し、青春を過ごした日々を思い出しながら、当日は、なつかしい曲をギター片手に想いをこめて唄われました。

また、西湘高校の卒業生なら一度は聞いたことのある(噂によれば校歌よりも認知度が高い)オリジナル曲「Let's sing」を70名全員で唄いました。

まだまだ現役並みのパワーがそこにはありました。若い!

また、来年も開催できたらと思うのでありました。

テスト前の放課後は一緒に勉強し、かるた部では全国大会出場を目標に練習にはげみ、文化祭の前は休みであろうと材料をみんなで買い出しに行ったり日々。

西湘高校での思いで振り返ってみると、みんなで目標に向かって努力する雰囲気にみなぎっていて、それをサポートする体制も整っていました。このような環境の中で学べたからこそ、努力し続けることや、人から学ぶことの大切さを知ることができたのだと実感しております。また、卒業後も変わらず交流し続けられる温かい先生方や多くの心優しい友人にも恵まれ、すばらしい三年間を過ごすことができました。

西湘高校で培ったものを今は職場で実践しています。これからも様々な人の出会いを大切にし、日々学び続け、教員として、未来を担うことどもたちの教育に尽力してまいります。

私は西湘高校在学時には部活動に励み、勉強し、友達と遊び、3年間でたくさんのこと経験しました。高校卒業後は横浜国立大学工学部生産工学科に進学しました。

大学では工学に関するより専門的な勉強となり苦労は絶えませんが興味深いことばかりです。現在は4年生になり大学の研究室でステアリングに関する研究をしています。さらに同大学の大学院に進学しようと勉強しています。

また、高校時代にはサッカーチームに所属し3年間頑張ったので、大学でもサッカーは続けようと思っていた。そのためサッカーサークルに所属し、週1回の活動ですが気持ちよく汗を流しています。

最後に、高校で得たものは非常にたくさんあり、良き思い出となっているので西湘高校に通うことができ本当に良かったと思っています。



募金協力のお願い

同窓会50周年記念事業の柱として、募金を行い母校へ寄付することにいたしました。

今回は寄附金控除を受けられる①「まなびや基金」と②「一般の寄附」の2種類を用意しました。「まな

びや基金」とは、皆様が県に寄附する形をとり、母校のために使われます。

個人の方は確定申告により所得税及び住民税の控除の対象となります。確定申告をされない方も「ふるさと納税制度」寄附金控除の

対象（住民税）となります。

例えば、所得が500万円の方が1万円を寄附した場合、5万円を寄附した場合、いずれの場合にも税額控除により実質負担は5,000円で済みます。

詳しくは税金Q&Aをご参照ください。

法人の方は寄附された金額が損金参入の対象となります。

使用目的は、「まなびや基金」への寄附は体育館ステージ周りの改修工事、「一般の寄附」はPTAと合同でエアコン設置に使わせて頂きます。

皆様のご協力をお願い申し上げます。



同窓会50周年記念式典

みんなで祝おう!!

同窓会が出来て今年で50周年になります。

この良き日に祝賀会を計画いたしました。

この間、19,685名の会員を迎えて、同窓会ではさあこれから活発に活動しようとしているところです。

テーマは”同窓生による同窓生のための同窓会”です。

先輩、後輩が一緒になつて交流しようではありませんか。「あの人、この人もいる」と情報交換しましょう。

実行委員会一同、皆様のご出席を心よりお待ちしております。

ご質問などある方は実行委員長の和田までご連絡下さい。TEL0466-22-0500

日 時：平成22年11月21日（日）17:00～20:00

会 場：湯本富士屋ホテル

〒250-0392 足柄下郡箱根町湯本256-1

TEL: 0460-85-6111

会 費：8,000円

内 容：歌の披露 アルト歌手 能勢成子（9期生）

オペラ歌手 中村靖（16期生）

講演 俳優 阿藤快（6期生）

実行委員長からのメッセージ



同窓会副会長 和田照子

新役員紹介

長年にわたり同窓会を守り続けてこられた永森衣代元会長（1期生）、山田博康前会長（4期生）から昨年、草柳孝会長（8期生）、青木孝光副会長（6期生）、和田照子副会長（6期生）へとバトンタッチされました。

新役員と新組織を紹介します。

会長 草柳 孝（8期生）
陸上部で活躍し西湘高校から国体へ初めて出場したスポーツマンです。

副会長 青木孝光（6期生）

生徒会長として学年を引っ張ってきたリーダー的存在です。

副会長 和田照子（6期生）

放送部で活躍した縁でプロの司会者になりました。

会計 田代良子（8期生）、高橋義孝（8期生）、石井良治（8期生）、飯山富夫（15期生）

書記 武藤千鶴子（5期生）、石内正彦（14期生）、原宏（15期生）

長谷川圭一（24期生）

会計監査 武井政二（18期生）、松山慎哉（19期生）

なお、永森衣代（1期生）、山田博康（4期生）は顧問

として、石川好子（3期生）、茂木智恵子（4期生）、鈴木良三（4期生）には参与として引き続き母校のために役員会をサポートして頂くことになりました。

● 新組織について

上記の役員の他に各卒業年度ごとに代表幹事が決まっています。この代表幹事も役員会に積極的に関わって頂くことになりました。他に地区ごとに同窓生が集まった組織があります。例として、大井町、南足柄市にあります。この組織の代表の方々も役員会に入って頂く予定です。

● 皆様にお願いです

代表幹事の中に29期生、36期生、37期生、47期生、49期生の代表幹事のお名前が同窓会に届いていません。この回の同窓生の皆様、情報を寄せ下さい。又は自分が代表幹事になつてもよいという方は名乗りを挙げて下さい。

連絡先：和田照子（6期生）
TEL: 0466-22-0500

編集後記：新聞を作成するに当たり、新しい取り組みとしてQRコードを利用しました。お楽しみいただけましたでしょうか。15期生

飯山富夫・田中保行・原 宏